

平成 30 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 8 回理事会

日時 平成 30 年 12 月 26 日 (水)

午後 2 時 30 分～午後 5 時 40 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 30 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 8 回理事会

日 時 : 平成 30 年 12 月 26 日（水） 午後 2 時 30 分～午後 5 時 40 分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名（理事 18 名・監事 2 名）

伊藤喜章 須田達也 大石和伸 清水憲雄

羽切政仁 坂根潤一 齋藤晴義

石井浩崇（書記） 勝又隆子 齋田英之 加茂川暢彦

鈴木淳二 川口貴子 直田健太郎 佐原卓夫 本多譲

榛葉智之 鈴木真紀子 藤原誠（監事） 中島和浩（監事）

（20 名／全 20 名中 うち理事 18 名／18 名 監事 2 名／2 名）※敬称略

欠席者 : なし

議長及び議事録記名人署名選出

議長 伊藤喜章

議事録記名人 須田達也 大石和伸 清水憲雄 藤原誠 中島和浩

議題 ※敬称略

1. 検査と健康展	P1~4	(坂根)
2. メディメッセージ2018	P5~6	(齋藤)
3. 減塩・低カロリープロジェクト2018	P7	(榛葉)
4. 中部圏支部学会、三重県記念式典	P8~9	(伊藤・直田)
5. 前回議事録確認		
6. 第8回静岡県医学検査学会	P10~11	(坂根)
7. 日臨技関係	P12~21,78~82	(伊藤・直田・榛葉)
8. 中臨技関係	P22~23	(伊藤・直田)
9. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会	P24	(羽切)
10. 各部門報告・審議事項(各部局長及び担当理事)		
・ 学術部(別紙資料あり)	P25~28	
・ 組織部(連盟含む)	P29~64	
・ 広報部		
・ 会計部	P83~84	
11. 事務局関連	P65~76	(榛葉)
12. その他		

1. 検査と健康展 (坂根)

2018年11月3日にエスパルスドリームプラザで開催された。反省点と改善点ともに報告した。1,000名を超える来場者に対して、大きなトラブルなくイベントを終える事ができた。反省点として、来場者用の椅子が挙げられた。安全面を考え、次年度は背もたれ付きの椅子を準備する事が報告された。県技師会事業費として250,000円を計上していたが331,858円の支出があった。

その他、JAMT マガジン用の原稿と写真を日臨技に提出した。

2. メディメッセージ2018 (齋藤)

11月23～24日にアクティシティ浜松で開催された。両日合わせ約5,000名の来場者があった。技師および学生の動員数は前回の約半数の延べ77名で運営した。時間帯によって人手が足りない部分はあったが大きなトラブルなくイベントを終える事ができた。

報告書を作成し静臨技ニュースに掲載する。

3. 減塩・低カロリープロジェクト2018 (榛葉)

11月25日に浜松医師会館で開催された。西部支部の理事、技師と学生で運営し、75名の来場者に対し推定塩分摂取量測定、血糖測定を実施した。

4. 中部圏支部学会、三重県記念式典 (伊藤・直田)

静臨技から伊藤会長と直田理事が参加した。県内イベントと重なり県内参加者が少なかった。次回は2019年10月に岐阜県で開催される。

5. 前回議事録確認 (榛葉)

第7回理事会議事録が完成した。

6. 第8回静岡県医学検査学会 (坂根)

2019年6月8日に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催される。学会長は大石副会長、実行委員長は坂根常務理事、学会事務局は加茂川理事、川口理事、鈴木理事。

演題募集は1月号の静臨技ニュースに掲載する。学会主旨およびテーマとシンポジウムの内容を早急に決定する。

開催までのタイムスケジュールを次回理事会で報告する。

7. 日臨技関係 (伊藤・榛葉・羽切)

1) 衛生検査所・地区委員会調査指導員推薦

静臨技からは大石副会長と羽切常務理事を推薦した。

2) 日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて

静臨技からの意見書とともに日臨技事務局に提出した。

3) 2020 年診療報酬改正に対する臨床検査実施コスト調査

臨床検査振興協議会と日臨技の共同実施調査で、調査対象を病院規模別に各支部の病院に依頼した。全ての調査対象項目を網羅することができないことや、各病院で試薬費や消耗品等の価格差があるが、各施設で算出していただき日臨技に提出する。

4) 2018 年度他団体との連携研修会

日臨技からの 2 件の研修会の案内があった。ホームページに掲載し会員に周知する。

8. 中臨技関係 (伊藤・榛葉)

1) 2019 年度検体採取講習会

山本中部圏支部長より、2019 年度の検体採取講習会の運営依頼があった。開催日は未定だが静臨技から 3 名選出する。

2) 愛臨技の短期留学研修報告書

海外研修制度によって短期留学された 2 名の報告を行った。

9. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会 (羽切)

2019 年 1 月 12～13 日に中部地区で開催される。現在までに応募者数は 8 名。理事施設と中部支部役員に再度協力を要請し年内中に応募していただく。日臨技と静臨技主催の事業で会員数の 1 割を目標としている。来年度には東部地区で開催される。

10. 各部報告・審議事項 (各部局長、担当理事)

・ 学術部 (清水)

【報告事項】

1) 研修会開催申請 5 件、終了申請 6 件があった。

2) 日本臨床検査薬協会プロモーション地区会が開催される。

3) 精度管理責任者育成講習会の開講のお知らせがあり、静臨技ホームページに案内を掲載した。

4) 日臨技精度管理データ標準化事業の体制の見直しのお知らせがあり、全国規模の基幹施設ネットワークは今年度で一旦廃止し、新たなサポート事業を構築していく。新事業については今後説明があるとのこと。

5) 2019 年度日臨技精度管理試料の試料使用の申し込み案内があったが、静岡県精度管理調査には生検体を使用しているため使用予定なしと回答した。

6) 第 68 回日本医学検査学会事務局より、一般演題座長の候補推薦について生理・微生物・血液・輸血で各 1 名の依頼があった。関係学術部門に調整を依頼した。

7) 静岡県衛生検査所精度管理専門委員会が 2018 年 11 月 6 日に静岡県庁で開催された。静臨技からは大石副会長、羽切常務理事、直田理事が参加した。

- 8) 平成 30 年度衛生検査所精度管理責任者等研修会が 2018 年 12 月 8 日に静岡商工会議所で開催された。静臨技からは大石副会長、羽切常務理事が講師として参加した。
- 9) 静岡市衛生検査所精度管理専門委員会が 2018 年 12 月 19 日に静岡市保健所で開催された。静岡市生活衛生課から会員派遣依頼があり大石副会長が参加した。
- 10) 静岡県精度管理成績検討会が 2018 年 11 月 25 日に開催され、341 名（会員 280 名、賛助会員 33 名、非会員 28 名）の参加があった。中部支部から 8 名の協力いただき会は混乱なく終了した。

【協議事項】

- 1) 2019 年度静岡県精度管理調査の実施のため、精度管理事業・データ標準化システム JAMTQC の使用申請について理事会にて承認された。
- 2) 静岡市立静岡病院の講堂を静臨技主催の勉強会で静岡市立病院の講堂を使用している。地域医療支援病院の立場から『共催』を検討できないか問合せがあった。静臨技としては、『協力』または『後援』の形を望む旨を静岡市立病院側と再度協議する。
- 3) 臨床化学部門精度管理委員の病院退職に伴い委員の継続が困難であり、部門からは候補者選考できないため、理事会へ部門員選出の依頼があった。
退く委員の施設から選出していただくか今任期中は委員の補充なしで運営できないか協議・検討いただく。本件の学術部門員構成について理事会では審議はできない。
静臨技規定の中で、学術部門と各支部長で協議し支部から委員を推薦するとなっている。

・組織部（連盟含む）（須田・佐原・石井）

- 1) 各種表彰について
 - ①結核研究奨励賞、日臨技各章受賞、2019 年秋の叙勲・褒章の候補者推薦依頼について該当者なしと報告した。
 - ②2019 年度第 54 回「小島三郎賞」、第 38 回「福見秀雄賞」、平成 31 年度春季善行表彰の候補者推薦依頼を各支部で案内中。
- 2) 会員の異動について
2018 年 10,11 月分の会員の異動を確認済み。
10 月分については、メールにて承認いただいて静臨技ニュース 12 月号に掲載した。
11 月分は本理事会で承認されたため静臨技ニュース 1 月号に掲載する。
静臨技の今年度退会予定者は現在までに 11 名の申請がある。
- 4) 会員名簿について
2018 年度会員名簿は各施設に配布済み。2017 年度会員名簿は 221 冊回収し、ヤマト運輸機密文書リサイクルにて廃棄処分済み。その後、静臨技事務所に約 10 冊届いている。
次回にまとめて廃棄処分する。それまでは静臨技事務所で保管する。
- 5) 求人情報掲載

前回理事会（平成 30 年 10 月 17 日）以降、掲載依頼 12 件、削除依頼 2 件あった。

6) 連盟関係

- ①第 25 回参議院議員通常選挙に出馬する、小川しんじ氏の挨拶の機会確保依頼があり、静臨技では 6 月の県学会やスキルアップ研修会（スタートアップ研修会）など候補を挙げ、連盟事務局に回答する。
- ②中部圏連盟ブロック会議と宮島参議院議員を囲む会が中部圏支部学会中に開催された。静臨技からは伊藤会長と直田日臨技理事が出席した。
- ③日本臨床検査技師連盟の入会を促した。

7) 65 周年記念誌作成の進捗について

65 周年記念誌作成編集作業を 12 月 2、24 日に実施した。12 日は現時点のデータを印刷会社に仮入稿し校正を依頼した。1 月中旬に最終校正ができた段階で理事にメールで報告する。その際に氏名の間違いないか協力いただくよう依頼した。3 月に製本、4 月の発刊予定。

8) スタートアップ研修会について

スタートアップ研修会を 2019 年 3 月 2 日に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」と静岡駅パルシェで開催する。イブニングセミナー会場は 50 人ほど入る会場を選定し、12 月 2 日に須田副会長と佐原理事で会場視察を行った。当日の講師派遣依頼書を直田理事、石井理事、アボット社に送付する。

9) 平成 30 年度災害派遣技師研修会について

平成 30 年 12 月 14～15 日に日臨技会館で開催され、静臨技からは須田副会長が参加した。

・広報部 （大石）

12 月の静臨技ニュースの発行遅延に対するお詫びがあった。

・会計部 （鈴木）

日臨技から 11 月 30 日付けで、会費・入会金（1 名分）5,500 円および平成 30 年度生涯教育推進研修会助成金 180,500 円の入金があった。

11. 事務局関係 （榛葉）

1) 脳死検査判定に対する脳波検査について

静岡県健康局疾病対策課から脳死判定の脳波検査技師の派遣や名簿作成の依頼があったが、静臨技は技師を派遣することができない団体なので技師の管理や名簿を作成することは難しい。県の要望と理事会での意見を集約し回答する。

2) 自然災害の被害共済制度申請について

台風 24 号の被害による被災共済制度申請が、東部地区 1 名、西部地区 1 名から罹災証明書とともに被災共済制度申請の提出があった。次回の日臨技審査委員会で審議対象となる予定。

3) 結核予防会講演会の開催について

2019年1月22日に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」開催される。中部地区での開催となるので大石副会長に依頼した。

4) 2020年中部圏支部学会について

県庁観光政策課から、2020年に開催される中部圏支部学会の会場を東部地区「プラサヴェルデ」を使用していただけないか問合せがあった。学会運営担当支部の須田副会長と羽切常務理事で担当課と日程調整していただき先方と話し合いの場を設ける。

5) 検査技師免許書再発行に関する問合せ

申請先の案内と申請方法をメールにて回答した。

12. その他

次回、理事会は1月29日予定（書記：鈴木理事）

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 伊藤喜章

氏名 _____ 印

議事録記名人

須田達也 大石和伸 清水憲雄 藤原誠 中島和浩

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印